7．キリル文字翻字法

1. キリル文字翻字法

キリル文字を一定の法則でローマ字に置き換えることを「キリル文字翻字」といい、その方法を「キリル文字翻字法」という。キリル文字翻字は、ローマ字を使用している英語圏の図書館などで、ロシア語などのキリル文字を使用する言語で書かれている図書・資料の文献カードを英文タイプライターなどで作成する必要性から生まれたものであると推測される。

現在、コンピューターはマルチリンガル化されたが、図書館の検索システムや、英語圏での英文出版物などの注や参考文献表などで、ロシア語文献などのキリル文字文献を表記するさいには、キリル文字から翻字されたローマ字で表記されることが多い。

キリル文字翻字法にはいくつかの種類がある。以下は、LC（Library of Congress of US）方式をもとに特殊な記号を省略したものである。

なお、このほかの代表的な翻字法としては、以下の方式のうち、ю を yu に、я を ya にするものなどがある。

А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П
A	B	V	G	D	E	E	Zh	Z	I	I	K	L	M	N	O	P

Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я
R	S	T	U	F	Kh	Ts	Ch	Sh	Shch	”	Y	’	E	Iu	Ia

а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	о	п
a	b	v	g	d	e	e	zh	z	i	i	k	l	m	n	o	p

р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я
r	s	t	u	f	kh	ts	ch	sh	shch	”	y	’	e	iu	ia

2. キリル文字翻字の例

Дмитрий Анатольевич Медведев	Лев Николаевич Толстой	Фёдор Михайлович Достоевский
Dmitrii Anatol'evich Medvedev	Lev Nikolaevich Tolstoi	Fedor Mikhailovich Dostoevskii

Российская Федерация	письмо	борщ	субъект	я говорю по-русски.
Rossiiskaia Federatsiia	pis'mo	borshch	sub”ekt	ia govoriu po-russki.

なお、慣用化した固有名詞などでは、以下の例のように、LC 方式の翻字とは異なるものがある。こうした慣用化した翻字は不規則のように見えるが、おおよその法則性はあり、Толстой, Достоевский などの形容詞形語尾を持つ固有名詞の語尾に y を用いるほか、E を E ではなく Ye としたりするとか、軟音記号 ь を省略したりすることなどがしばしば見られる。またキリスト教由来の固有名詞は、各言語における独自の表記法があり、丸ごとそれに置き換えられることがある。

Толстой	Достоевский	Ельцин	гласность	Санкт-Петербург	Екатерина	Николай
Tolstoy	Dostoevsky	Yeltsin	glasnost	St. Petersburg	Catherine	Nikolay / Nikolas